

## 私たちが屋上で養蜂しました



# 文化芸大ハチミツ販売

浜松市中区の静岡文化芸術大の屋上で採れたハチミツが商品化され、20〜22日に大学生協で販売する。一般の人も購入できる。養蜂やラベルのデザインなどを学生らが手がけた。（柳昂介）

### 浜松、あす〜22日

養蜂を通じて地域活性化を図る「静岡ぶん芸大養蜂プロジェクト」の一環。3月から大学屋上に巣箱を設置し、5〜6月にハチミツを採取。11月上旬の学園祭でも商品を販売した。ハチミツは時期によって味が異なり、5月初めに採れたのは「April」と名付けられ、味が濃く、花の香りが強いのが特徴。5月終わりから6月に採取したのは「May」と名付けられ、まろやかな味わいという。50㍺の小瓶はAprilとMayの2種類。150㍺の中瓶はMayの1種類。

ラベルには蜂のロゴや桜、クローバーの絵をあしらっている。大学や近くの公園で、蜂が花の蜜を採取している姿から着想を得た。地域の親子などに購入してもらうため、かわいらしいデザインを意識した。いずれも税込みで、小瓶は500円、中瓶は千円。蜂の巣を溶かして作ったミツロウキャンドルも1000円で販売する。売り切れ次第販売を終了する。プロジェクトの一員で2年の島奈々香さん（20）は「メンバーで協力して良いデザインになった。愛情を込めたハチミツを食べてもらえることができ、うれしい」と語った。

完成した商品をPRするプロジェクトのメンバーら＝浜松市中区の静岡文化芸術大で